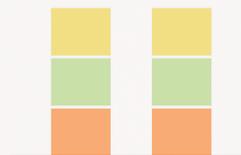


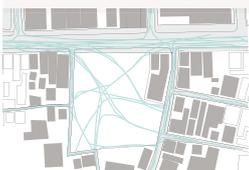
ALLEY OF THE CITY



対象敷地は周辺の街区に比べてスケールが大きく、周囲のミチからきり離されたかたちになっている。



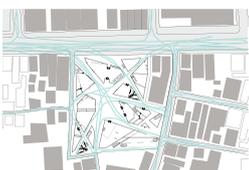
建物の中で各階層毎のなごりは希薄であり、距離を感じる。



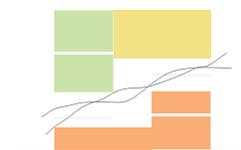
ミチからミチへと様々な動線を敷地内に交錯させる。



各棟の階高を操作し視線の交錯を図る。さらに用途を階をまたぎ指定することで、建物を利用する人の行動範囲が広まる



建物のアウトラインを周辺のスケールと同化させ、街から建築への流動的な流れを生み出す。そのスケールを維持しながら積層していく。



視覚的にもミチのような抜けをつくり、階を移動しなくても、各層への視線が抜けるよう操作する。